

平成28年度助成事業成果表

参加団体が行き組む“子どもがアンビシャスになるための優れた活動”や、“青少年が参加し周りの環境改善に行き組むような子どもたちの成長につながる効果的な活動”などに対し助成を行った。

<年2回助成（4月、8月）>

① 前期助成団体及び活動

[長期継続活動:7事業]

No.	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	福岡県立 嘉穂高等学校柔道部	<p>『筑豊地区小中学生柔道推進活動』</p> <p>柔道青少年の減少を危惧し、他地区や他県との交流の場を創出することで、柔道を通して青少年の健全育成を図る活動で、平成13年度から中学生を対象とした柔道大会を毎年開催してきたもので、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、柔道大会に31校が参加し、熱戦が繰り広げられた。</p> <p>28年度は、34校の参加のもと9月22日（祝）に開催するとともに、11月からは、小学生を対象とした柔道教室を毎週水曜と日曜に開催し、子どもたちを中心とした地域柔道の裾野拡大に取り組んだ。</p>	飯塚市
2	宇美町 スポーツ少年団	<p>『宇美町スポーツ少年団リーダー育成事業』</p> <p>スポーツ少年団では、団員を引っ張っていく青少年リーダーの育成が喫緊の課題となっており、3年計画で将来の指導者を育成しようとする活動で、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、8月に念願の「宇美町スポーツ少年団リーダー会」を15名で正式に立ち上げ、以後偶数月の第2日曜日に定例会として育成プログラムを実施し、年度末には32名に増加した。</p> <p>28年度は、4月に22名でスタートし（年度末35名）、リーダー主導による全体交流会の企画運営や機関誌の発行にも取り組み、個々の資質向上を図った。</p>	糟屋郡 宇美町

3	言葉の森後援会	<p>『聞こえない・聞こえにくい子どもたちの育ちを地域で支えよう』</p> <p>聴覚障がい児に、健やかな発達や障がい認識を深め将来への展望を与えようと企画されたもので、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、放課後子どもクラブで子ども向けの課外授業に取り組むとともに保護者向けの連続講座、手話による交流会などを実施した。</p> <p>28年度は、6月に放課後子どもクラブの事業を法人が運営する形態に移行し、安定的な運営に取り組んだ。</p> <p>これらの活動に、延べ1938名が参加し、コミュニケーション方法の取得等聴覚障がい児の社会性等を育んだ。</p>	久留米市
4	子どもに能楽を勧める会(英扇会)	<p>『「子どもと留学生の能楽発表会」と「小学校での能楽ワークショップ」』</p> <p>子どもたちや留学生に能楽を学ばせることで、日本古来の伝統文化への理解や、礼儀作法、集中力、向上心を高めるなど、健全な育成に繋げようと活動されているもので、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は「北九州市芸術祭・能楽大会」、「福岡宝友会」、「子どもと留学生の能楽発表会」に出演するとともに、夏休み子ども能楽体験教室を実施した。</p> <p>28年度は、上記の発表会への出演に加え、3つの小学校で能楽体験講座を実施した。218名が参加し、能楽を通して礼儀作法を身に付けるとともに、向上心や協調性が養われた。</p>	北九州市 八幡西区
5	福岡県和ごま競技普及協会	<p>『ちびっこ指導員による和ごまの指導』</p> <p>15年間、地域で和ごまをツールとした子ども社会の再生に取り組まれてきた活動で、現在では「ちびっこ指導員(小学生)」制度を取り入れ、子どもが子どもに教えることで、自立心を育てている。</p> <p>各地からの「ちびっこ指導員」による指導依頼に取り組むため、28年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>28年度は、3地域で延べ42名の「ちびっこ指導員」が、85名の小学生に指導を実施し、和ごまを通した子どもたちによる子どもたちの育成を図った。</p>	太宰府市

6	にじいろ	<p>『「ふくおか・プレ弁当の日」 ～ふくおか弁当の日を、幼児親子で実践しよう～』</p> <p>「ふくおか弁当の日」に合わせて、幼児や小学校低学年の子とその親を対象とした農業体験、酪農・養鶏場見学、料理教室などを行う活動で、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、酪農・養鶏場の見学、卵や牛乳を使った調理実習、講演会等を通して食育活動を行った。</p> <p>28年度は、田植えから稲刈りまでの稲作体験や畑を耕し野菜の種を撒き収穫まで行う畑作体験、講演会等実施し、37名の子どもたちが参加した。</p> <p>この体験を通して自分で料理をするなど、食に興味を持つ子どもたちを育成した。</p>	京都郡 荊田町
7	壱鼓館	<p>『子ども和太鼓体験教室』</p> <p>障がいを持つ子どもたちに、和太鼓の指導を行い、「壱鼓祭」への参加や、他団体（健常者も含む）の子どもとの交流を行い、達成感や自信を持たせ、保護者も含めて将来への希望を与えて行きたいと取り組まれている活動で、27年度は短期活動として、28年度からは長期継続活動として採択された。</p> <p>28年度は、前年度の活動成果を踏まえ、月1～2回個々の障がいの程度に合わせて、焦らず繰り返し時間を掛けて丁寧に指導を行うことで、子どもたちは、努力する意識が向上するとともに、自信を持ち、元気な笑顔がみられるようになった。</p> <p>人数も、当初の7名から19名に増加した。</p>	福岡市 東区

〔短期活動:2事業〕

No.	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	本郷アンビシャス広場	<p>『一泊二日 本郷アンビシャス広場キャンプ』</p> <p>学校週5日制に合わせて、放課後の居場所づくりや地域の大人とのふれあい（通学合宿やバスハイクなど）を通して、地域全体で子どもたちを育てようとして取り組まれてきた。</p> <p>7月17日の事前研修と8月3日から1泊2日の日程で、国立夜須高原自然の家での宿泊キャンプやサンビレッ</p>	三井郡 大刀洗町

		<p>ジ茜でのスキーなどの体験活動に、小学3年～6年生20名が参加した。</p> <p>この活動を通して、仲間づくりとともに、仲間と一緒に行動する楽しさなど社会性や協調性を養った。</p>	
2	私たちの未来環境プロジェクト	<p>『色々な鬼ごっこ&スポーツ鬼ごっこの普及・育成』</p> <p>昆虫などの自然観察や道路・海岸の清掃等の環境保全活動、子どもたちが集まって遊べる交流の場の提供などを行われてきた。</p> <p>これまでも日本古来のいろいろな遊びを実施されており、今回は、日本のみならず外国の鬼ごっこ（マダガスカルのクバーラ）を、29回実施し803名の小学生が参加した。</p> <p>この活動を通して、日本や外国の文化を知るとともに、基礎体力、コミュニケーション能力の向上が図られた。</p>	北九州市戸畑区

② 後期助成団体及び活動

〔長期継続活動支援:7事業〕

No.	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	田川de寺子屋プロジェクト	<p>『むすんでひらいて そば打って』</p> <p>幼児の情操を育み、良い生活習慣を意識づけし身に付けさせるために、保育所での偉人伝を語る情操向上事業などを実施されてきた。</p> <p>子どもたちに荒れ果てた遊休農地に蕎麦を播き、収穫し、蕎麦打ちまで体験させることで、生産する喜びや食の基本である命を頂いていることへの感謝に気付かせようとする活動で、28年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>28年度は、2つの保育所の園児60名が上記活動に参加し、食の有難みが薄れている現在において、幼児期から良い生活習慣を身に付けさせた。</p>	田川郡川崎町

2	NPO法人 がんサポーターサポート	<p>『未来ある子ども達に伝えたい 「いのちのホームルーム」がん教育プロジェクト』</p> <p>がん経験者や看護師を小中高校に派遣し、授業形式で「がん」への正しい知識や「生きること」の大切さを学ばせることにより、子どもたちの心身の成長を促すとともに、「がん」予防の普及を図ってこられたもので、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、28校で5079名が受講した。 28年度は、29校で4924名が受講した。</p> <p>がんに対する正しい知識を学ぶとともに、経験者の話を聞くことで、自分や周りの大切な人ががんになった時、「がん＝死」と慌てることなくしっかり向き合えるようになってもらえるよう伝えた。</p>	福岡市 東区
3	羽根木東区寺子屋 (家庭塾)	<p>『子どもたちの子どもたちによる 子どもたちのための環境活動』</p> <p>学校週5日制の実施を契機に、地域の小学生に呼び掛け、14年度から「楽しく遊び楽しく学ぶ」をモットーに読み聞かせなどの活動を、毎月第1、第3土曜日の午前中に実施されてきたもの。</p> <p>親子での読書会やマス計算など活動の充実を図り、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、14期生として38名が入塾し、11名が卒塾した。 28年度は、15期生として26名が入塾し、これまでの活動に加えて、野鳥・野草・花のスケッチ教室、天体観測会などにも取り組んだ。9名が卒塾し、これまでの15年間で巣立った6年生は87名となった。</p>	行橋市
4	小郡市古賀区 こども囲碁教室	<p>『福岡県こども囲碁交流大会並びに親子入門教室』</p> <p>県内の子どもたちが一堂に会し、囲碁を通じた交流を深めることにより豊かな心や志を持った青少年を育成していこうとするもので、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、福岡都市圏から県南地域までの6教室と連携し、当教室が推進役となり10月18日に75名が参加した。 28年度は、規模を拡大し10月23日に105名が参</p>	小郡市

		<p>加し交流を深めた。</p> <p>また、将来を見据えて、各教室が参画したこども囲碁協議会を29年度に立ち上げ、全県的なこども囲碁の普及を目指そうとしている。</p>	
5	<p>NPO法人 田主丸町緑の応援団</p>	<p>『中国沙漠植林ボランティアの旅 九州田主丸隊』</p> <p>沙漠化を少しでも阻止するため、中国内モンゴル自治区のクブチ沙漠での植林活動を平成4年から20年以上続けている。13年からは、地元の子どもたちを参加させることで、地球規模の環境問題や緑化の必要性を学ばせてきた。</p> <p>また、日中の子どもたちの交流の場を設け、国際感覚豊かな青少年の育成につなげようとするもので、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年は、6名の中高生を派遣した。</p> <p>28年も、引き続きクブチ沙漠へ、8月16日～22日に4名の中高生を派遣し、ポプラの苗木350本を植林した。これまで派遣した小中高生は61名となった。</p> <p>また、長年の植林活動が評価され、28年4月に中国大使館から表彰された。</p> <p>27年の参加者が、28年8月に開催された少年の主張福岡県大会で、この活動について発表し福岡県教育委員会賞を受賞した。</p>	久留米市
6	<p>NPO百千鳥 (旧:NPO法人 ハーティーケア基金)</p>	<p>『日本のおいしい食体験事業 ～子ども和菓子づくりと子ども記者柳橋商店街に行く』</p> <p>日本文化を切り口としてこれからの「日本のいい暮らし」を追求する活動を行っているもので、『食(和菓子)』をテーマに、27年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>27年度は、和菓子づくり教室を2回開催し、幼児から高校生まで34名が参加した。</p> <p>28年度は、和菓子づくり教室(27年2月開催、20名参加)のほかに、プロの記者やカメラマンの指導のもと、10名が子ども記者として、10月に柳橋商店街を取材し、食材の流れや店で働く人々の姿を見て、食の大切さやありがたみを学んだ。</p>	福岡市 中央区

7	特定非営利活動法人 なかがわ自然楽会	<p>『遊休田畑を活用した青少年の農業活動 並びに食育活動支援』</p> <p>東北大震災時に、支援活動として素人米作りを始めた（大人）ことを契機に現在まで継続してきたが、最近、子どもたちの参加が多く見られるようになったことから、子どもたちを中心にした農業体験事業に本格的に取り組むもので、28年度に長期継続活動として採択された。</p> <p>子どもたちに、田植えや稲刈りなどの農業体験をさせることで、地元の自然の中で生産の喜びを感じてもらった。</p> <p>また、耕作放棄田畑を蘇らせ、里山の復興につなげていく。</p>	筑紫郡 那珂川町
---	-----------------------	---	-------------

〔短期活動支援:3事業〕

	助成団体名	活動名及び内容	所在市町村
1	月隈武徳館道場	<p>『第40回記念月隈少年柔道大会』</p> <p>子どもたちに柔道を通して、礼儀や謙虚さ、感謝の心などを体得させ、文武両道の大切さを教えていこうと継続開催されてきた少年柔道大会で、県内外120道場が参集する（個人道場が主宰する大会としては）西日本一の大会となっている。</p> <p>28年度は、第40回記念大会として、2月19日に福岡武道館で、幼児から小学生までの856名が団体戦や個人戦で熱戦を繰り広げ、日頃の練習の成果を発揮した。</p>	福岡市 博多区
2	一般社団法人 地域企業連合会 九州連携機構	<p>『FUKUOKAみらいフェスタ2016』</p> <p>子どもたちが自分の親の職場を訪問し、働く姿を見ることで、親子の絆を深めるきっかけ作りを行うとともに、感想文や親への感謝状を作成させ発表する場を与え、親子関係の改善、ひいては子ども自身の心身の成長につなげるもので、21年から実施している。</p> <p>27年度は、103社630名の子どもたちが参加。</p> <p>28年度は、154社1996名の子どもたちが参加して、親子の絆を深めた。</p>	福岡市 博多区

3	<p>総合型地域スポーツ クラブ スポーツBRANDEX 福岡</p>	<p>『青少年サイクルスポーツ、一輪車教室、大会 および全日本大会遠征』</p> <p>自転車や一輪車を使ったスポーツを通して、青少年の健全育成を図るもので、日頃の練習の成果を発表する交流大会を開催してきた。</p> <p>28年度は、これらの活動に加え、建設中のダムを舞台にした「五ヶ山ダム湖底活用イベント」(8/21、9/25)にも参加するとともに、11月6日には第1回五ヶ山サイクルロードレースを実施した。</p> <p>延べ2128名の小中高校生がサイクルスポーツに取り組み、2名は9月に大阪で開催されたサイクルサッカーの全国大会に出場した。</p>	<p>筑紫郡 那珂川町</p>
---	---	---	---------------------